

# 海外事業

アジアから世界を視野に、活動の舞台は大きく広がっています。



フィリピン サンロケ・プロジェクト

フィリピンでの「サンロケ多目的プロジェクト」やタイ「ロジャナパワー」など、海外でも多方面にわたり積極的に事業を展開。国際社会が直面する重要課題を解決するために、技術協力による貢献も期待されています。



中国 / スイソン発電所



タイ / ロジャナパワー



## グローバルに展開する多彩なプロジェクト

関西電力は、1998年に、日本の電力会社として初めて海外の発電事業（フィリピンにおける水力発電事業）に参画しました。このプロジェクトは、25年間発電所を運転した後設備をフィリピン国に譲渡する BOT (Build, Operate and Transfer)方式による海外卸発電事業で「サンロケ多目的プロジェクト」と呼ばれています。サンロケ・プロジェクトは2003年5月より営業運転を開始し、当社のO&M (Operating and Maintenance) 管理の下、順調に運転が続いています。このプロジェクト以外にも、関西電力は「東欧省エネルギー・排出抑制基金」への参画、またタイにおいては、天然ガス焚きコージェネレーションプラントを所有するロジャナパワー社の株式を取得し、経営に参画するなど、多方面にわたり積極的な海外展開を図っています。

## 海外コンサルティング事業の推進

関西電力は、これまで培った電力関連技術を活用し、アジア各国においてコンサルティング事業に取り組んでまいりました。その一例として、当社独自のRBM (リスクベースメンテナンス) 手法の導入を提案する内容で中国の政府系卸電力会社より出力160万kWの石炭火力発電設備保守点検の最適化に関するコンサルティング業務を受注し、業務を開始しております。今後ともこうしたコンサルティング事業を通じて、ビジネスチャンスの発掘に努めます。

## 地球規模の重要課題に対する積極的な取り組み

「地球温暖化問題」や「持続可能な発展」といった、国際社会が直面している重大な課題に取り組むためには、世界規模の協力が不可欠です。原子力発電・省エネルギー・環境保全などに関連する技術移転においては、民間セクターの中でも電力会社の果たせる役割が大きく、当社に対してもさらなる貢献への期待が高まっています。

このような背景から、当社は次の3つをはじめ、多くの国際プロジェクトに参加しています。

- 持続可能なエネルギー開発の促進をめざす国際組織への積極参加
  - 温室効果ガスの排出削減に向けた発展途上国との共同活動の実施
  - 途上国における電力と環境に関連する人材開発活動の実施
- 関西電力は、今後も自社の技術やノウハウを活用して、気候変動の緩和など地球規模の重要課題の解決にも貢献してまいります。

